

環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野に関する アンケートへのご協力のお願い

これまでに技術の実証を行った実証申請者の皆さま

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
実証運営機関 財団法人日本環境衛生センター

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より本調査においてご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

本分野においては、平成22年度より実証試験における既存データの活用^(注1)、及び平成23年度より分野別個別ロゴマークの交付^(注2)を行い、環境技術実証の実施手法における、より柔軟な対応の確保・体制の改善を図っております。

そこで、本年度は、これまで技術の実証をいただきました実証申請者の方々に、その後の技術・製品について、既存データの活用について^(注1)、昨年度実証対象技術から交付されております分野別個別ロゴマークについて^(注2)、貴社製品（技術）の海外への輸出について、ご意見を承りたいと存じます。

ご多忙を省みずでの、ご質問は、はなはだ恐縮の至りですが、本事業の実施をより充実させ、皆様がより活用できるものとするため、本調査へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

敬具

【アンケートお願い】

1. アンケート対象：環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野において、これまでに技術の実証を行った実証申請者の方々
2. アンケート実施期限：平成23年12月9日(金)までにご返送ください
3. アンケート回答用紙：WORD 版回答用紙の電子メールによる回答 又は FAX、郵送による回答
4. お問い合わせ先及びアンケート提出先
財団法人 日本環境衛生センター 環境科学部（担当：並木、紀平）
〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 10-6
e-mail:kagaku@jesc.or.jp FAX:044-288-4850 TEL:044-288-5132

注1) 既存データの活用について

平成22年度小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の実証試験要領より、既存データの活用ができるようになりました。実証機関は、実証試験計画作成時に、技術の実証に必要な実証試験の一部又はすべてを、実証申請者からデータを提出させ、技術実証委員会での助言も踏まえ、一定要件を満たすと判断される場合には、それらを実証試験に代えることができます。これにより、試験回数・期間の軽減、延いては実証試験費用の低減につながることを期待されます。

詳細については、小規模事業場向け有機性排水処理技術分野 実証試験要領(第4版)(31 ページ)をご参照ください(http://www.env.go.jp/policy/etv/t3_06.html)。

注2) 環境技術実証事業ロゴマークについて

下記ロゴマークは、環境技術実証事業ロゴマークです。環境技術(製品)を製造・販売する企業(実証申請者)が、環境省が承認した第三者機関が実施する実証試験に参加し、その実証試験結果(測定結果、数値計算結果)が、結果の如何を問わず公表されていることを示しています。ここでいう実証試験の「実証」は、一定の判断基準を設けて、その基準に対する適合性を判定する「認証」、「認定」、「規格」と異なります。ロゴマーク内部(平成20年度以前は近傍)に記載されている実証番号は、実証試験を実施した環境技術(製品)に個々に交付された固有の番号です。そして、ロゴマークが交付された環境技術(製品)の実証試験結果報告書は、環境技術実証事業ウェブサイトでご覧いただけます(http://www.env.go.jp/policy/etv/list_20.html#B02)。



平成20年度以前



平成21年度(横型)



平成21年度(縦型)



平成22年度以降
(共通ロゴマーク)



平成22年度(横型)



平成22年度(縦型)
(平成22年度実証申請者に公布された個別ロゴマークの例)

環境技術実証事業
小規模事業場向け有機性排水処理技術分野に関する
アンケート回答用紙

【回答時のお願い】

以下の設問では、括弧()、内はご自由にご記入下さい。
口枠の部分は該当する項目を選択して下さい。選択した場合は、口枠内に○印等を記入して、他の口枠と区別して下さい。

1. 実証対象技術について

①実証を行った技術名をご記入下さい。

()

②技術が実証された年度をお答え下さい。

- (a) 平成 15 年度～平成 16 年度
 (b) 平成 18 年度～平成 21 年度
 (c) 平成 22 年度
 (d) 平成 23 年度

2. 本事業の成果及び実証を行った技術について

①本事業の成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)について、現在利用していますか。

- (a) 現在成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)を利用している。 →2. ②へ
 (b) 現在成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)は利用していないが、今後利用する予定である。 →2. ②へ
 (c) 現在成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)は利用していないが、今後利用するかもしれない。 →2. ②へ
 (d) 以前は成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)を利用していたが、現在は利用していない。 →2. ②へ
 (e) 現在成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)は利用しておらず、今後も利用する予定はない。 →3. ①へ
 (f) その他() →3. ①へ

※上のように回答された理由についてお答えください。また、成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)を利用するに当たっての問題点があれば、具体的にご指摘ください。

②上記2. ①で(a)～(c)と回答された方にお伺いします。本事業の成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)をどのように活用したいと考えていますか、あるいはどのように活用していましたか。

- (a) 同一基準での評価として
 (b) 公的試験結果として
 (c) 企業広告(販売用資料)として
 (d) その他()

③本事業で実証を行った技術について、実証後にその仕様・製品の性能に変更はありましたか。

- (a) 仕様・製品の性能に変更はない。 →3. ①へ
 (b) 仕様・製品の性能に関して、軽微な変更があった。 →2. ④へ
 (c) 仕様・製品の性能に関して、大幅な変更があった。 →2. ④へ

④上記2. ③において(b)、(c)と回答された方にお伺いします。実証を行った技術については、製品の型式・型番等の更新・変更は行っていますか。

- (a) 製品型式・型番等の更新・変更は行っていない。
 (b) 製品型式・型番等の更新・変更を行った。

⑤実証後にその仕様・製品の性能に変更・差異があった技術について、本事業の成果(特にロゴマーク)を利用していますか。

- (a) 変更後も、変更前と同様に、ロゴマークを利用している。
 (b) 変更後は、注釈を用いるなどしてその違いを明示し、ロゴマークを利用している。
 (c) 利用していない。

⑥実証後にその仕様・製品の性能に変更・差異があった技術について、変更のあった箇所についての追加的な実証試験を行いたいと思いますか。

- (a) 必要な試験費用をかけても、追加の実証試験を行いたい。
 (b) 試験費用によっては、追加の実証試験も考えたい。
 (c) 追加の実証試験に関しては、考えていない。

⑦本事業の成果(実証試験結果報告書、ロゴマーク)について、「実証試験時と実際の製品使用時とで製品の性能に相違が生じる場合、又はその可能性がある場合、その性能の差異を生じさせる主な要素について明示すること(平成23年度環境技術実証事業実施要領第2部第11章4.(2)[3]より抜粋)」となっています。これらの対応について、ご存知ですか。

- (a) 知っている。
 (b) 知らない。
 (c) よくわからない。

3. 既存データの活用について

平成22年度より既存データの活用が可能となりました(アンケートへのご協力のお願い文(注1)参照)。これにより、実証試験費用の軽減が期待されます。

①平成22年度より既存データが活用できるようになったことを、ご存知でしたか。

- (a) 知らなかった。
 (b) 知っている。
 (c) わからない。
 (d) 平成22年度に実証し、既存データが活用できることは知っていたが、活用しなかった。

② 既存データが活用できるようになり、実証対象技術への申請はしやすくなったと思いますか？(平成22年度以降に実証された方は、実際に申請しやすくなったと感じるか、ご回答ください。)

- (a) 実証対象技術への申請はしやすくなった。
 (b) 実証対象技術への申請はしにくくなった。
 (c) 特に変わらない。

※上のように回答された理由についてお答えください。

③平成 22 年度以降に実証された方にお伺いします。実証対象技術として申請する前に、既存データとして活用できるようなデータを採取しましたか。

- (a) 既存データとして活用できるよう、意識的にデータを採取した。 →3. ④へ
- (b) データ採取は行ったが、既存データとして活用することは意識しなかった。 →3. ④へ
- (c) 活用できるようなデータ採取は行わなかった。 →3. ⑤へ

④上記3. ③で(a)又は(b)と回答された方にお伺いします。既存データを活用しましたか。それにより、実証試験費用は軽減されたと思われますか。

- (a) 活用してない。
- (b) 活用したが、実証試験費用は軽減されたと思わない。
- (c) 活用し、実証試験費用は軽減されたと思う。

⑤実証試験費用の軽減以外に既存データを活用できるようになったことによる、メリット、デメリットはありますか。

※自由記入欄

4. 各分野における個別ロゴマークについて

平成 22 年度より、本事業共通のロゴマークと各分野における個別ロゴマークが交付されることとなり、各実証対象技術の実証番号入りロゴマークが交付されております(アンケートへのご協力をお願い文(注2)参照)。

①これらの個別ロゴマークについてご存知ですか。

- (a) 知っている。
- (b) 知らない。
- (c) 見たことがあるような気がする。

②平成 21 年度以前に実証された技術に関しても、希望があった場合には、今後下記個別ロゴマークが交付されます。個別ロゴマークに変更し、利用したいと思いますか。

- (a) 是非変更し、利用したい。
- (b) 機会があれば変更し、利用したい。
- (c) 特に変更することは考えないが、現在のロゴマークを引き続き利用したい。
- (d) 機会があれば変更したいが、今後も利用は考えていない。
- (e) 変更、利用の予定はない。



縦型



横型

図 平成 22 年度実証申請者に交付された個別ロゴマーク(例)

5. 有機性排水処理技術の国際展開について

アジア諸国において、日本の排水処理技術についての関心が高まりつつあります。また、有機性排水処理技術を海外に輸出する動きもあります。貴社の技術・製品の海外への輸出状況についてお伺いします。

①現在貴社製品(実証を行った技術、実証を行っていない技術の如何は問いません。)の海外への輸出をお考えですか。また、実施していますか。

- (a) 海外へ販売した実績がある。 →5. ②へ
- (b) 考えており、現在海外への販促を行っている。 →5. ②へ
- (c) 考えてはいるが、実施していない。 →5. ②へ
- (d) 考えていない、また実施の予定もない。 →5. ⑤へ

②上記5. ①で(a)～(c)と回答された方に伺います。海外への技術の輸出には、どのような地域、国を対象としていますか。

- (a) 北米地域
- (b) 南米地域
- (c) 欧州地域
- (d) アフリカ地域
- (e) アジア地域
- (f) オセアニア地域
- (g) その他

※具体的な国、地域名が判れば、お書きください。

③上記5. ①で(a)～(c)と回答された方に伺います。本事業の実証試験結果報告書は、著作権を有する環境省に利用許可^(注)を得ることにより、外国語翻訳の作成や利用が可能になります。今後、海外への技術の輸出に当たり、実証試験結果報告書の外国語翻訳の作成又は活用予定(あるいは作成又は活用したい)について、あてはまる項目をお答えください

実証試験結果報告書について

- (a) 活用する、したい。 →5. ④へ
- (b) 活用したいが、出来ない。 →5. ④へ
- (c) 活用しない、今後も活用の予定はない。 →5. ⑤へ
- (d) わからない。 →6. へ

※(b)、(c)と回答された方は、活用しない、出来ない理由があればお答えください。
(例: 利用方法がよくわからないため、など)

④上記で(a)、(b)と回答された方に伺います。今後、海外への技術の輸出に当たり、重視される項目(該当する各項目)、及び実証試験で実施した試験方法・条件が活用できるか、あてはまる項目をお答えください。※複数回答可

- | | |
|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 1) pH | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 2) BOD | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 3) COD | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 4) SS | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 5) n-Hex | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 6) 大腸菌群数 | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 7) T-N | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 8) T-P | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 9) 汚泥発生量 | <input type="checkbox"/> i) 実証試験で実施した試験方法が有効とされる。 |
| | <input type="checkbox"/> ii) 活用できない国がある。(具体的な国名:) |
| | <input type="checkbox"/> iii) 実証試験で実施した試験方法・条件が、現地では受け入れられない。 |
| | <input type="checkbox"/> iv) その他() |
| <input type="checkbox"/> 10) その他() | |

- ⑤上記5. ①で(a)～(c)と回答された方に伺います。現在、共通ロゴマークには下記のとおり英語版があり、個別ロゴマークは、日本語版のみとなっています。今後、海外への技術の輸出に当たり、本事業における成果(共通ロゴマーク)は活用しますか、あるいは活用したいですか。あてはまる項目をお答えください



英語版共通ロゴマーク
(URL 及び英語表記部分含む)

英語版共通ロゴマークについて

- (a) 活用する、したい。
 (b) 活用したいが、出来ない。
 (c) 活用していない、今後も活用の予定はない。
 (d) わからない。

※(b)、(c)と回答された方は、活用しない、出来ない理由があればお答えください。
(例: 利用方法がよくわからないため、など)

6. その他

本事業、小規模事業場向け有機性排水処理技術分野についてご自由なご意見をお聞かせください。

※自由記入欄

ご協力ありがとうございました。

※本アンケートは、**2011年12月9日(金)まで**に、下記までご回答いただきますようお願い申し上げます。

※アンケートに関するお問い合わせ&提出先

財団法人 日本環境衛生センター 環境科学部 (担当: 並木、紀平)

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 10-6

e-mail: kihira_az@jesc.or.jp TEL: 044-288-5132 FAX: 044-288-4850

URL: http://www.jesc.or.jp/

環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野に関する アンケートへのご協力のお願い

「環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野」
において実証された製品(技術)を購入されたユーザーの皆さま

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
実証運営機関 財団法人日本環境衛生センター

拝啓 貴事業者ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より本調査においてご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

貴社に導入(購入)していただきました排水処理に関する製品(技術)は、環境省が平成15年度より実施しております環境技術実証事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野において実証試験を行った実証対象技術です。

当方は、本分野実証運営機関として、本事業に携わらせていただいております財団法人日本環境衛生センターと申します。この度、本事業においてより効果的な制度の構築のために、実際に実証試験が行われた実証対象技術を導入(購入)されたユーザーの皆さまにアンケート調査を実施させていただき、ご意見を承りたいと存じます。

ご多忙を省みずでのご質問は、はなはだ恐縮の至りですが、本事業をより効果的な制度とし、皆様がより活用できるものとするため、本調査へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

敬具

【アンケートお願い】

1. アンケート対象:環境技術実証事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野において、実証された製品(技術)を導入(購入)された方々
2. アンケート実施期限:平成23年12月9日(金)までにご返送ください
3. アンケート回答用紙:WORD 版回答用紙の電子メールによる回答 又は FAX、郵送による回答
4. お問い合わせ先及びアンケート提出先
財団法人 日本環境衛生センター 環境科学部 (担当:並木、紀平)
〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 10-6
e-mail:kagaku@jesc.or.jp FAX:044-288-4850 TEL:044-288-5132
URL: <http://www.jesc.or.jp/>
5. 本事業については、**別紙1**をご参照ください。また更なる情報については、本事業ウェブサイトをご参照ください(<http://www.env.go.jp/policy/etv/>)。

[環境技術実証事業]

のご案内

<http://www.env.go.jp/policy/etv>

環境省



既に実用化され、有用と思われる先進的環境技術でも環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために、地方公共団体、企業、消費者等のエンドユーザーが安心して使用することができず、普及が進んでいない場合があります。

環境技術実証事業とは、このような普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者機関が客観的に実証する事業です。本事業の実施により、ベンチャー企業等が開発した環境技術の普及を促進し、環境保全と地域の環境産業の発展による経済活性化が図られることが期待されます。

「実証」とは?

- 「実証」とは、環境技術の開発者でも利用者でもない第三者機関が、環境技術の環境保全効果、副次的な環境影響、その他を試験等に基づき客観的なデータとして示すことをいいます。
- 「実証」は、一定の判断基準を設けて、この基準に対する適合性を判定する「認証」とは異なるものです。

対象技術分野

- 対象技術分野は、技術開発者やユーザーなどからの実証に対するニーズを把握しつつ、有識者検討を踏まえ、環境省が選定します。
- 平成23年度は、8分野を対象として事業を実施しています。(各技術分野の概要については、裏面をご覧ください。)

実証事業にかかる費用は誰が負担?

- 国負担体制と手数料徴収体制の2種類の体制で運営しています。
- 国負担体制では、対象技術の試験場所への持ち込み・設置、現場で実証を行う場合の対象技術の運転、試験終了後の対象技術の撤去・返送に要する費用は実証申請者の負担とし、対象技術の環境保全効果の測定その他の費用は環境省の負担とします。
- 手数料徴収体制では、国負担体制での実証申請者の負担に加え、実証試験実施に係る実費(実証機関に発生する測定・分析等の費用、人件費、消耗品費及び旅費)を手数料として実証申請者に負担いただくことになります。

ロゴマーク

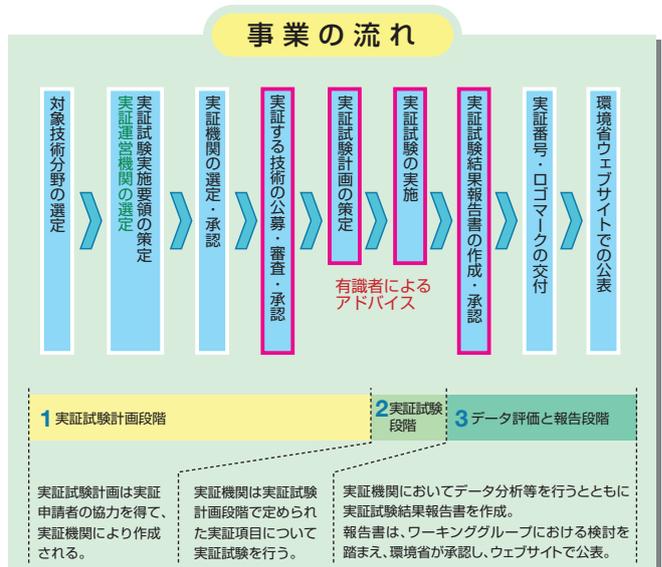
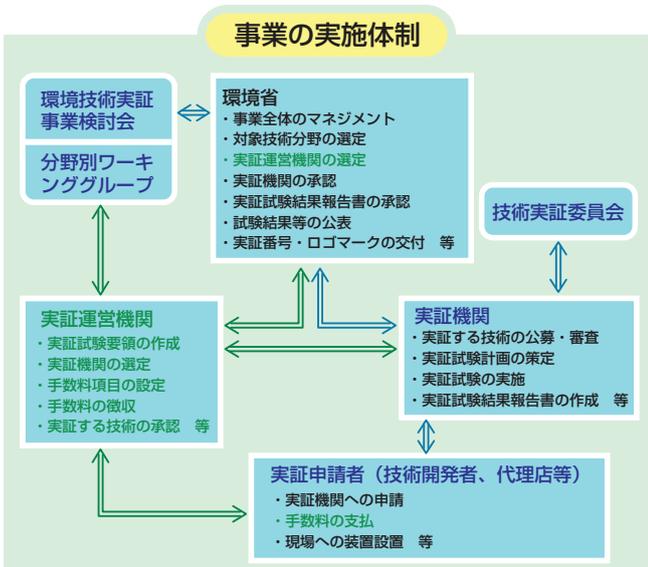
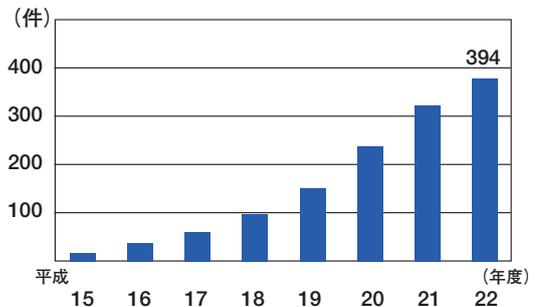
- 環境技術実証事業で実証を行った技術には、環境技術実証事業ロゴマークを交付しています。

- ロゴマークには、全技術分野共通の「共通ロゴマーク」と、分野ごとの情報を追加した「個別ロゴマーク」があります。



実証結果の公表

- 平成22年度までに394技術の実証を行いました。
- 実証結果については、以下のウェブサイトでご覧いただけます。
http://www.env.go.jp/policy/etv/list_20.html



国負担体制における対象技術分野（平成23年度）

●地球温暖化対策技術分野（照明用エネルギー低減技術（反射板、拡散板等））

日常業務または日常生活に求められる光環境の実現に必要なエネルギー消費量を低減し、温室効果ガス排出削減に資する技術分野

対象となる技術の例 照明ランプ周辺に反射板、拡散板等を設置することで照明用エネルギーを低減する技術（照明ランプ単体を除く）

手数料徴収体制における対象技術分野（平成23年度）

●自然地域トイレし尿処理技術分野

山岳地や山麓、海岸、離島などの自然地域で上下水道、電気（商用電源）、道路等のインフラが不十分な地域、または自然環境の保全に配慮しなければならない地域において、し尿を適切に処理するための技術分野。

対象となる技術の例 非放流式で、し尿を生物処理、化学処理、物理処理、もしくはその組合せにより適切に処理するし尿処理技術（装置）など。

●小規模事業場向け有機性排水処理技術分野

小規模事業場（日排水量50m³未満を想定）の厨房・食堂、食品工場等から排出される有機性排水を適正に処理するための技術分野。

対象となる技術の例 厨房からの有機性排水を、生物学的または物理化学的処理により適切に処理する技術（装置・プラント）など。

●閉鎖性海域における水環境改善技術分野

水質の悪化により、貧酸素水塊や赤潮等が発生し、生態系等に悪影響が生じている閉鎖性海域において、水質および底質の直接浄化に資する、または生物生息環境の改善に資する技術分野。ただし、現場で直接適用可能なものを基本とし、しゅんせつ等大がかりな土木工事等を要するものは除く。

対象となる技術の例 海藻の増殖用ネット等を活用した生物生息環境の改善技術、エアレーションや海底耕耘等による水質改善技術、海域における窒素・リンの回収技術など。

●湖沼等水質浄化技術分野

流入汚濁負荷の削減だけでは水質改善が難しい湖沼等において、水中、底泥中の汚濁を直接浄化、または、汚濁負荷の内部生産を抑制するための技術分野。

対象となる技術の例 ろ過・吸着・沈殿等及び植物プランクトンの異常増殖の抑制による湖沼等の水質改善技術など。

●ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）

建築物（事務所、店舗、住宅など）に後付けで取り付けることができる外皮技術であり、室内冷房負荷の低減等をさせることによって、人工排熱を減少させ、ヒートアイランド対策効果が得られる技術分野。

対象となる技術の例 窓用日射遮蔽フィルム、窓用コーティング材、窓用後付複層ガラス、屋根・屋上用保水性建材、高反射率プラインド防水シート、高反射率瓦、高反射率塗料など。

●ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）

地中熱（地下水・河川・下水等も含む）と外気との温度差を利用し、外気を熱源とする空冷式ヒートポンプよりも効率的に、また冷房時に外気に放出せず建物内の冷暖房を行うことでヒートアイランド対策効果が得られる技術分野。

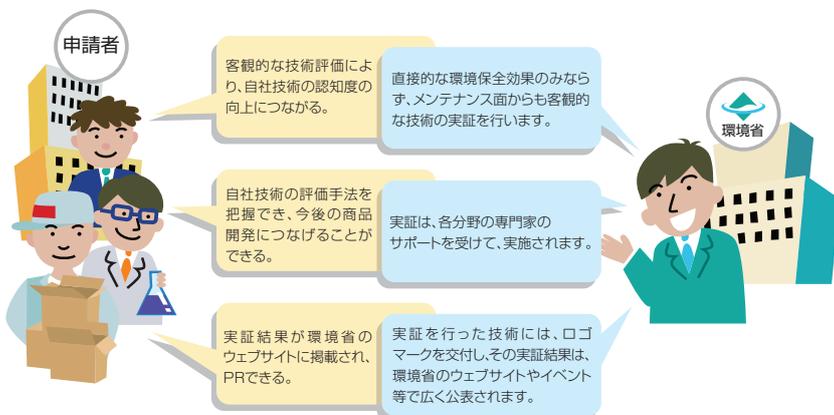
対象となる技術の例 地中熱又は下水熱を熱源とした水冷式ヒートポンプ、地中熱交換機、及びそれらを組み合わせたシステム全体。

●VOC簡易測定技術分野

操作・管理の容易性及び定量の迅速化などの特徴をもったもので、VOC取扱い事業所における工程管理、機器管理、VOC処理装置管理、作業環境管理等、VOC排出削減の自主的取組みに有用な技術分野。

対象となる技術の例 VOCに関して複数成分を同時に測定でき、操作・管理等が簡便な技術。

※各対象技術分野における技術の募集は当事業のウェブサイト(<http://www.env.go.jp/policy/etv/>)などでお知らせしております。



< 環境技術実証事業ウェブサイト >

「環境技術実証事業」全般に関する問合せ先

環境省総合環境政策局総務課 環境研究技術室

〒100-8975 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2 中央合同庁舎5号館 TEL:03-3581-3351 (代表)

本事業に関する詳細な情報は、以下のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.env.go.jp/policy/etv/>

このウェブサイトの中では、実証試験要領、実証試験結果等をご覧いただけます。

③導入・設置された製品（技術）の使用年数をお聞かせください。

	(a) 購入からずっと使用している
	(b) 約（ ）年間使用した。

※現在使用していない場合、その理由をお聞かせください。
(例：他の機器を導入した、思うような成果が挙げられなかったため、など)

3. 製品（技術）を導入したきっかけについて

①製品（技術）を導入したきっかけについてお聞かせください。 ※複数回答可

	(a) 有機性排水処理に苦慮していた。
	(b) 自治体などからの指導など。
	(c) 近隣からの苦情など。
	(d) 水質検査を依頼した業者から排水の問題について指摘された。
	(e) 環境技術に興味があった。
	(f) その他（ ）

②導入された製品（技術）をお知りになったきっかけについてお聞かせください。

	(a) 製造企業からの販促により
	(b) 環境技術実証事業のウェブサイト ^(注1) を閲覧して
	(c) 上記(b)以外のウェブサイトを閲覧して
	(d) 他のユーザーからの紹介をうけて
	(e) 水質検査を受けた際に検査業者から紹介をうけて
	(f) その他（ ）

③導入された製品（技術）が、環境技術実証事業において実証試験を行った製品（技術）であることは、いつ頃お知りになりましたか。

	(a) もともと知っていた。(例：環境技術実証事業のウェブサイト ^(注1) などから、客観的なデータがある製品（技術）を探したなど)
	(b) 購入前（検討段階）に知った。
	(c) 購入後に知った。
	(d) 他今回はじめて知った。

※どのようにしてお知りになりましたか。
(例：ロゴマークを見て、製造企業から聞いた、など)

④環境技術実証事業で実証試験を行った製品（技術）の導入を決めた事由をお聞かせください。

※複数回答可

	(a) 実証試験結果報告書を見て、技術的に優れていると思ったから。
	(b) 上記(a)以外の情報を見て、技術的に優れていると思ったから。
	(c) 環境省環境技術実証事業の文字が入ったロゴマークがあったから。
	(d) メンテナンスが簡便であったから。
	(e) 初期経費が適正な価格であると判断したから。
	(f) ランニングコストが適正価格であると判断したから。
	(g) その他（ ）

4. ロゴマークの理解について

平成 20 年度以前

平成 21 年度(横型)

平成 21 年度(縦型)

平成 22 年度以降
(共通ロゴマーク)

平成 22 年度(横型)
(平成 22 年度実証申請者に公布された個別ロゴマークの例)

平成 22 年度(縦型)

①上記ロゴマークをご存知でしたか。

	(a) 知っている	→質問 4. ②へ
	(b) 知らない	→質問 4. ③へ

②上記4. ①で「(a)知っている」と回答いただいた方にお伺いします。どこでこれらのロゴマークをご覧になりましたか。

	(a) 環境技術実証事業のウェブサイト ^(注1)
	(b) 製造企業のウェブサイト
	(c) 販売代理店・施工事業者のウェブサイト
	(d) 商品カタログ
	(e) 商品の包装パッケージ
	(f) 広告・展示会等のチラシ・ポスター
	(g) その他 ()

③下記破線枠内の説明にあるロゴマークの意味から、ロゴマークがついた商品やロゴマークを取得した企業について、どのように思いますか。 ※複数回答可

	(a) 今後は、環境技術の商品を購入（仕入れもしくは採用）する際にロゴマークの有無を確認し、公表された性能について確認したい。
	(b) 環境技術実証事業のウェブサイト ^(注1) をもっと良く見てみたい。
	(c) 実証試験結果報告書のデータを確認してみたい。
	(d) ロゴマークや環境技術実証事業のことを周りの人に教えたい。
	(e) ロゴマークが付いた商品がもっと増えて欲しい。
	(f) 自分がロゴマークの付いた商品を購入し使っていることをミニブログ（Twitter等）、ブログ、SNS（mixi,Facebook等）などに紹介したい。
	(g) この事業について意見を提出したい。

〔環境技術実証事業ロゴマークについて〕

「4. ロゴマークの理解について」において掲載しているロゴマークは、環境技術実証事業ロゴマークです。環境技術（製品）を製造・販売する企業（実証申請者）が、環境省が承認した第三者機関が実施する実証試験に参加し、その実証試験結果（測定結果、数値計算結果）が、結果の如何を問わず公表されていることを示しています。ここでいう実証試験の「実証」は、一定の判断基準を設けて、その基準に対する適合性を判定する「認証」、「認定」、「規格」と異なります。ロゴマーク内部（平成20年度以前は近傍）に記載されている実証番号は、実証試験を実施した環境技術（製品）に個々に交付された固有の番号です。そして、ロゴマークが交付された環境技術（製品）の実証試験結果報告書は、環境技術実証事業ウェブサイト^(注1)で閲覧できます（http://www.env.go.jp/policy/etv/list_20.html#B02）。

②有機性排水処理技術（製品・装置）の導入にあたり、どのような方法で情報収集を行っていますか。

※複数回答可

<input type="checkbox"/>	(a) 関連業界の展示会で収集する。
<input type="checkbox"/>	(b) ウェブサイトなど関連サイトから情報収集する。
<input type="checkbox"/>	(c) 他の利用者からのクチコミにより情報収集する。
<input type="checkbox"/>	(d) 関連雑誌などから情報収集する。
<input type="checkbox"/>	(e) 水質検査業者からの情報提供により収集する。
<input type="checkbox"/>	(f) その他（ ）

※展示会名、検索サイト先、雑誌名など、ご可能な限り具体的にお教えください。

③この事業に関するご意見・ご質問がありましたら、ご自由にご記入ください。

※自由記入欄

ご協力ありがとうございました。

※本アンケートは、**2011年12月9日（金）**までに、下記までご回答いただきますようお願い申し上げます。

※アンケートに関するお問い合わせ＆提出先

財団法人 日本環境衛生センター 環境科学部（担当：並木、紀平）

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 10-6

e-mail:kagaku@jesc.or.jp FAX:044-288-4850 TEL:044-288-5132

（注1）環境技術実証事業ウェブサイト（<http://www.env.go.jp/policy/etv/>）



(注2) 実証試験結果報告書例 (平成22年度実証試験結果報告書 概要版より)

環境技術実証事業 ETV 環境省

実証試験概要

実証試験概要
 実証試験種別: 水質浄化
 実証試験種別: 水質浄化
 実証試験種別: 水質浄化

実証試験概要
 実施期間: 平成22年11月25日 ~ 平成22年11月26日
 実証試験概要: 本実証試験は食品加工工場内の有機性汚濁水質削減の一環として実施された。本実証試験を行う食品加工工場では、鶏がらボイル処理工程において高濃度の油分が排水され、排水に臭気がある。そこで本実証試験を実施することで、その臭気水が後の工場内排水処理装置に流入する際の汚濁負荷を低減させるものである。

1. 実証試験概要

2. 実証試験の概要

3. 実証試験の結果

4. 実証試験のまとめ

5. 実証試験の結果

6. 実証試験の結果

7. 実証試験の結果

8. 実証試験の結果

9. 実証試験の結果

10. 実証試験の結果

11. 実証試験の結果

12. 実証試験の結果

13. 実証試験の結果

14. 実証試験の結果

15. 実証試験の結果

16. 実証試験の結果

17. 実証試験の結果

18. 実証試験の結果

19. 実証試験の結果

20. 実証試験の結果

21. 実証試験の結果

22. 実証試験の結果

23. 実証試験の結果

24. 実証試験の結果

25. 実証試験の結果

26. 実証試験の結果

27. 実証試験の結果

28. 実証試験の結果

29. 実証試験の結果

30. 実証試験の結果

31. 実証試験の結果

32. 実証試験の結果

33. 実証試験の結果

34. 実証試験の結果

35. 実証試験の結果

36. 実証試験の結果

37. 実証試験の結果

38. 実証試験の結果

39. 実証試験の結果

40. 実証試験の結果

41. 実証試験の結果

42. 実証試験の結果

43. 実証試験の結果

44. 実証試験の結果

45. 実証試験の結果

46. 実証試験の結果

47. 実証試験の結果

48. 実証試験の結果

49. 実証試験の結果

50. 実証試験の結果

51. 実証試験の結果

52. 実証試験の結果

53. 実証試験の結果

54. 実証試験の結果

55. 実証試験の結果

56. 実証試験の結果

57. 実証試験の結果

58. 実証試験の結果

59. 実証試験の結果

60. 実証試験の結果

61. 実証試験の結果

62. 実証試験の結果

63. 実証試験の結果

64. 実証試験の結果

65. 実証試験の結果

66. 実証試験の結果

67. 実証試験の結果

68. 実証試験の結果

69. 実証試験の結果

70. 実証試験の結果

71. 実証試験の結果

72. 実証試験の結果

73. 実証試験の結果

74. 実証試験の結果

75. 実証試験の結果

76. 実証試験の結果

77. 実証試験の結果

78. 実証試験の結果

79. 実証試験の結果

80. 実証試験の結果

81. 実証試験の結果

82. 実証試験の結果

83. 実証試験の結果

84. 実証試験の結果

85. 実証試験の結果

86. 実証試験の結果

87. 実証試験の結果

88. 実証試験の結果

89. 実証試験の結果

90. 実証試験の結果

91. 実証試験の結果

92. 実証試験の結果

93. 実証試験の結果

94. 実証試験の結果

95. 実証試験の結果

96. 実証試験の結果

97. 実証試験の結果

98. 実証試験の結果

99. 実証試験の結果

100. 実証試験の結果

3. 実証試験概要

4. 実証試験の結果

5. 実証試験の結果

6. 実証試験の結果

7. 実証試験の結果

8. 実証試験の結果

9. 実証試験の結果

10. 実証試験の結果

11. 実証試験の結果

12. 実証試験の結果

13. 実証試験の結果

14. 実証試験の結果

15. 実証試験の結果

16. 実証試験の結果

17. 実証試験の結果

18. 実証試験の結果

19. 実証試験の結果

20. 実証試験の結果

21. 実証試験の結果

22. 実証試験の結果

23. 実証試験の結果

24. 実証試験の結果

25. 実証試験の結果

26. 実証試験の結果

27. 実証試験の結果

28. 実証試験の結果

29. 実証試験の結果

30. 実証試験の結果

31. 実証試験の結果

32. 実証試験の結果

33. 実証試験の結果

34. 実証試験の結果

35. 実証試験の結果

36. 実証試験の結果

37. 実証試験の結果

38. 実証試験の結果

39. 実証試験の結果

40. 実証試験の結果

41. 実証試験の結果

42. 実証試験の結果

43. 実証試験の結果

44. 実証試験の結果

45. 実証試験の結果

46. 実証試験の結果

47. 実証試験の結果

48. 実証試験の結果

49. 実証試験の結果

50. 実証試験の結果

51. 実証試験の結果

52. 実証試験の結果

53. 実証試験の結果

54. 実証試験の結果

55. 実証試験の結果

56. 実証試験の結果

57. 実証試験の結果

58. 実証試験の結果

59. 実証試験の結果

60. 実証試験の結果

61. 実証試験の結果

62. 実証試験の結果

63. 実証試験の結果

64. 実証試験の結果

65. 実証試験の結果

66. 実証試験の結果

67. 実証試験の結果

68. 実証試験の結果

69. 実証試験の結果

70. 実証試験の結果

71. 実証試験の結果

72. 実証試験の結果

73. 実証試験の結果

74. 実証試験の結果

75. 実証試験の結果

76. 実証試験の結果

77. 実証試験の結果

78. 実証試験の結果

79. 実証試験の結果

80. 実証試験の結果

81. 実証試験の結果

82. 実証試験の結果

83. 実証試験の結果

84. 実証試験の結果

85. 実証試験の結果

86. 実証試験の結果

87. 実証試験の結果

88. 実証試験の結果

89. 実証試験の結果

90. 実証試験の結果

91. 実証試験の結果

92. 実証試験の結果

93. 実証試験の結果

94. 実証試験の結果

95. 実証試験の結果

96. 実証試験の結果

97. 実証試験の結果

98. 実証試験の結果

99. 実証試験の結果

100. 実証試験の結果